やわらかまじめ新聞

第103号

発行者
志正会並びに
県議会議員鈴木正人
〒353-0002
志木市中宗岡1-1-2
TEL048-476-7525
FAX048-476-7526

ようやく「政務活動費のインターネット公開検討会」を立ち上げ

１６年前、土屋前知事の娘が不法にゼネコンから１億５千万円を集めて逮捕後に「しがらみ一層」を訴えて、上田知事誕生に貢献した当時の県政刷新若手議員の会

六月定例会や参議院選挙も終わり、いよいよ埼玉夏の陣！

上田きよし知事が最後となる、埼玉県議会六月定例会も無事終了いたしました。

参議院選挙も、史上二番目に低い投票率で五〇％割れで盛り上がりの欠ける中、こちらも終了。

与党の勝利で終わりましたが、消費税が上がる事もこれで決定的となり、何となく先行きの不安を感じますけど、勝利された与党の皆さんには、是非デフレ脱却を果たして、日本経済を元気にして欲しいですね。

私が学生時代から、日本経済も庶民の皆さんの給与も変わらない状況。

何よりも、実質賃金が上がるように消費増税をぶっ飛ばす位の景気回復をお願いしたい所ですね。

人口減少社会でも、世界中では経済を伸ばしている国はいくらでもありますから。

さて、残念ながら上田きよし知事が、八月三〇日の任期を持って勇退する事を表明されました。

鈴木正人みたいに直前になって、撤回して再出馬とか言わないだろうな」などと言われもしますが、まぁ、さすがに介護などが絡む訳でもないので事情も違いますから、奥様の反対があったにせよ、同じ事はさすがにないでしょう。

さて、県議会も改選後の入れ替わりもあって、ようやく自民党県議団の皆さんも議会改革を進める事に対して理解をしてくれて、政務活動費のインターネット公開検討会」が議会閉会日に立ち上がり、ようやく公開に向けての議論がスタートすることになりました。

私も会派を代表して、検討会のメンバーの一員となったんですね。

本格的議論が八月末の新らしい知事を決める知事選後というのが、ちょっと気にはなりますが、ようやく政務活動費の不正な領収書発行の抑止効果が期待出来る　ネット公開」を埼玉県議会でも遅まきながらようやく取り入れそうなんです。

何故か、県庁舎建て替え特別委員会設置

しかし、一方で何だかよくわからない特別委員会も設置されてしまったんですよ。

その名も　県庁舎建て替え特別委員会」。

確かに県庁舎は古くはありますが、上田知事就任後に検討を重ね、建て替えより安く上がり、他へ財源を振り分けられるという事で平成二十二年に耐震工事が完成したんですね。

ですから、現在では全く災害に弱い庁舎では無く、また働いている職員やそれこそ県民の皆さんから、県庁舎を立て替えて欲しいとの要望があったなど聞いた事がなかたんですよ。

それが上田知事勇退の報道がなされてから、何と　職員の働き方改革」のために良い環境で仕事をさせるためと言って庁舎建て替えが必要であると　県庁舎建て替え特別委員会」が多数決で設置ちゃいました。

上田知事が勇退と決まったらというのがどうも気になりますね。

土屋前知事時代に、ゼネコンから娘さんへの一億五千万円の不法金銭授受事件がありましたが、利権政治復活をアピールしたいのかと受けめられても仕方がないですよ。

まあ、とにかく上田きよし知事の後は、過去の利権政治、側近や身内が儲かるような時代に戻すべきじゃないですね。

そのためにも、上田きよし知事が応援団長で、上田路線を継承発展させてくれる　大野もとひろ」さんに期待したいと思います。

特定の県議団の操り人形でなく、政策立案能力のある即戦力の方が相応しいのではないでしょうか。

拉致問題の解決まで街頭署名活動は続けます

１０年後のビジョンと抱負を語る大野もとひろ参議院議員

県政レポート2019 No.103 地盤・看板・カバンゼロからスタートした

埼玉県議会議員　無所属県民会議

ホームページ　http://www.trans.ne.jp/masato/

◆上田きよし埼玉県知事今季限りで勇退へ◆

大野もとひろ氏の応援団長へ

上田知事最後の六月定例会終了後に会派のメンバーと

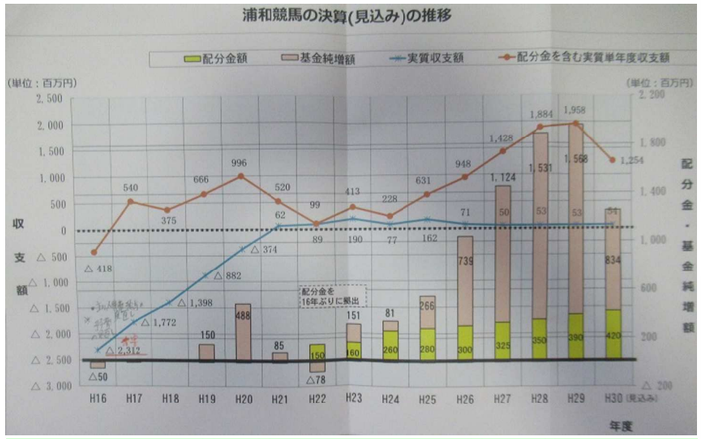
●統一地方選挙直前に、私に再出馬するよう励ましてくださった上田知事の不出馬表明については、私の立場としては非常に残念ですが、ご家族、特に奥様の反対という事であれば、介護・ダブルケア状態によって家族の反対を受け一度不出馬を決意した私としても上田知事に対して無理な事は言えません。

また、ラグビーワールドカップやオリンピックを直前にして不出馬宣言するという事に関しても、普通なら華々しい中で知事をやり続けたいと考える中、そこまで権力の座にしがみつき地位や利権をわが物にしたいタイプでないという上田知事の意向も理解出来ます。

全国知事会の会長もされ、埼玉スーパーアリーナや埼玉高速鉄道の黒字化、私が今度所属する浦和競馬組合も赤字体質を、県が配当金までもらえる程の黒字に変えて行くなど、個別の数値を改善するために努力され、更には貧困の連鎖を無くすための教育支援など、地味な部分でしっかり成果を出しておりました。

残り任期はわずかでありますが、１６年間本当にお疲れ様でした。

上田県政改革で黒字化されたもの（例）



※浦和競馬組合は平成16年の23億円の赤字経営から平成29年には19億円の黒字経営へ

●私は改選後に浦和競馬組合の議員に選出され、始めての浦和競馬組合議会を経験させていただきました。

議会で配布された決算資料ですが、上田知事が就任後には管理者として行財政改革を行い、赤字でありながら高すぎる人件費の抑制や、皆さんに来ていただけるような環境整備のための攻めの設備投資効果によって、現在はインターネット販売なども好調で、更なる老朽化した施設の整備のための基金や、構成するさいたま市と埼玉県に配分金を出し、また周辺自治会活動への助成や周辺小中学校への教育活動支援、奨学金への寄付を行うまでに至っております。

県政躍進地方議員の会　結成

◆上田知事を初当選から支えてきた超党派の地方議員達（初当選時は県政刷新若手議員の会）が、「県政躍進地方議員の会」を発足させ、知事選に出馬を予定している大野元裕参院議員を支援することを決めました。

会には県議会会派の無所属県民会議や埼玉民主フォーラムに所属する県議や保守系の市議ら約45人が参加。

上田知事と大野氏も出席され、自ら政策立案能力のある即戦力の大野氏への支援の輪が広がりました。